MIKI ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

三木ロータリー週報

会長・稲見　秀穂　　幹事・横尾加名子　　S.A.A. 石井　盛久　　クラブ会報委員会―発行

例会日・毎週金曜日12:30～13:30　例会場・三木商工会館４階大会議室　ＴＥＬ(0794)82－3190

事務局・兵庫県三木市本町２丁目１番18号　三　木　商　工　会　館　内　ＴＥＬ(0794)82－8880　ＦＡＸ(0794)82－0909

URL：www.miki-rc.jp　E-mail：info@miki-rc.jp

Rotary よいことのために手を取りあおう

三木ロータリークラブ2025-2026年度テーマ　さりげなく

２０２６年　１月２３日　　NO. ２５（NO.３２９０）

今回のプログラム　１月２３日　クラブフォーラム　Ｒ情報委員会　　岡島 正造 委員長

次回のプログラム　１月３０日　会 員 卓 話　岡田 紹宏 会員
ゲスト講師　市橋 卓也 様　㈱ハヤブサ OPEN SPACE 事業部 OS 運営課
「廃校を地域資産へ -民間主導による利活用の可能性-」

本日のソング　それでこそロータリー

次回１月 30 日のお弁当はミリオンダラーミールです　S.A.A.

ホームページ会員専用
ＩＤ：mikirc
PW: miki1230

出席記録	会 員 数	出 席 者	当日出席率	メークアップ他	出席率
本　日	49 名中				
１月１６日	49 名中	35 名	35/40　87.50%	0 名	35/40 87.50%
１月　９日	49 名中	37 名	37/42　88.10%	0 名	37/42 88.10%

◇１月　９日のﾒｰｸｱｯﾌﾟ出席者　　◇１月１６日のﾒｰｸｱｯﾌﾟ出席者

前回例会２０２６年１月１６日の記録

【会長の時間】

先週の新春例会で私、菅田将暉さんのお名前を間違って読んでしまいまして、えらい恥をかきました。その菅田将暉さんが大河で竹中半兵衛役をやるということで、竹中半兵衛はご存知のように平井山の陣の下にお墓があります。以前、歴史解説で NHK に出ておられる小和田哲男さんが「黒田官兵衛」の時にお見えになったのですが、最後にどこか行きたいところはありますかとお聞きしたら、三木城ではなく竹中半兵衛の墓に行きたいと。なかなかしぶいなと思いました。

さて、昨年高市さんが総理になられてから本当に景色が変わりまして、先週まさか解散とは思っていなかったところに、今度は野田さんが公明党と一緒になると。ものすごく激変しています。高市さんも野田さんも松下政経塾の出身で、松下幸之助さんは「事業において成功する要諦とはなんぞや。成功するまで続けることだ」と言われました。なんか、わかったような、わからんような話ですが、その教えを受けてお二人ともやっておられるのだなと思います。この 2026 年は激動の時代の幕開けかもしれませんが、我々ロータリアンとしてしっかりやっていきたいと思う今日この頃であります。

【幹 事 報 告】

・本日、例会終了後に理事会を開催します

・米山奨学会のことが記載された公益法人ガイドブックが寄贈されました。

・地区から「発達障害のある人の”働く力”を育てる」セミナーの開催のお知らせです。回覧いたします。

【委員会報告】出 席　本日の出席は、会員 49 名中 35 名出席で出席率は 87.50%です。

ニコニコ箱　(*^-^)　　合計　¥1,201,000 円

粂田　隆生君　ゴルフで嬉しい事がありました。宮永さん、よろしくお願いします。
岡島　正造君　今日は所用の為、途中で退席します。職業奉仕 井本委員長　卓話頑張って下さい。

× ×

クラブフォーラム　職業奉仕委員会　委員長　井本 太 会員

昨年４月にポートピアホテルで職業奉仕のセミナーを受けまして、本日はそこで学んだことを皆さんにお話しさせていただきます。

RC は私のような若輩者から見ますと、約 100 年前にアメリカで発足した奉仕の団体です。その中で「職業奉仕」という概念があるのですが、一見分かりやすいようで、調べれば調べるほど難解であり、かつ興味深い境地に入っていきます。実は昨年受けた 2 つのセミナー、両方の講師の先生が「私も職業奉仕は分からないままやっています」と仰っていました。「Vocational Service」という言葉が「職業」と翻訳されたことで、少し意味が取りにくくなっているようです。

RC には「四つのテスト」という指針があります。真実かどうか、みんなに公平か、好意と友情を深めるか、みんなのためになるかどうか。約 100 年前、ハーバート・J・テイラーという人が倒産寸前の会社をこの四つのテストに照らし合わせて見事に立て直し、これが国際 RC で採用されました。また日本では「三方よし」という近江商人の理念、売り手よし、買い手よし、世間よし。特にこの世間よしを日本のロータリアンは重視しています。

では【職業奉仕】とは具体的に何か。一番分かりやすく教えてもらったのは「自らの職業を通じて社会貢献をする」ということです。ただ、これが直面するとなかなか難しい。僕の会社はものを作ってお客さんに買っていただいていますが、じゃあ値引きすることが奉仕なのか。いや、それは違う。6 個買ったら 1 個つけますよ、これも違う。自分たちの利益を減らすことが奉仕じゃなくて、私が思うに「顧客満足度」なんです。コスパが良くて品質が良くて、買ってくれたお客さんが「これやったら値打ちあるわ」「またお願いするわ」と言ってくれる。そういう所に通じるのではなかと思います。

また、職業奉仕には「専門性を社会に役立てる」という側面もあります。自分たちの事業を深掘りし、あるいは転換して、新たな価値を生むことです。先日、大阪でお土産に買ったお菓子が美味しかったのですが、調べてみると作っているのは「岩おこし」の会社でした。岩おこしの会社でありながら、製造ラインも異なるバームクーヘン作りに挑戦し、成功しているのです。専門性の中で足元を掘り直せば、意外な鉱脈が見つかるという好例だと思います。

一方で働く人の意識はこの 10 年で大きく変わりました。かつて主流だった仕事優先の価値観が後退し、余暇と仕事のバランスを図る人が増えています。若い世代は効率性や自己成長、柔軟に働けることを重視する傾向にあります。こうした中で職業奉仕、つまり仕事に生きがいを見つけるということは難しくなっているかもしれません。ただ、自己実現という言葉で捉え直せば、自分の可能性を最大限に生かして理想の自分に近づくプロセスとも言えます。

100 年前に RC を作ったポール・ハリスは弁護士でしたが、現代の私たちはもっと自由です。既存の職業の枠にとらわれず、新しい事業や職業そのものを創造することもできます。私自身、今年で 65 歳になりますが、自分の足元の仕事を深掘りしつつ、新しい可能性を探っていきたいと思っています。

四つのテストに問いかけをしつつ、時には「あいつ変なことやっているな」と言われながらも、新しいことに挑戦する。そして、若い人たちが得意なことは、素直に「教えてくれ」と頭を下げて手取り足取り教えてもらう。そうやって世代を超えて学び合い、新たな鉱脈の可能性を見出すような面白い人生になるかなと思います。